九州大学

女性が活躍できる大学を目指し、多様なプログラムを提供する

ワーク・ライフ・バランス

研究補助者雇用支援（2007～）

学内3保育施設設置（2009 ～ ）
（2016 箱崎地区は病院地区へ統合）

教員の出産時、新に1名支援教員を雇用可能（数年任期）（2010～）
2015までの採用実績　18人

教授・准教授育児期支援（2014～）

時間外、病児・病後児育児シッター利用料補助（2015～）

研　究　助　成

学内研究助成制度の女性枠（f枠）の設置（2006 ～ ）

スキルアップ支援
「国際学会派遣支援」
「論文校閲経費支援」
（2007～）

スキルアップセミナー開催
「英語能力向上」etc.
（2007 ～ ）

出産・育児復帰者研究費支援（2015～）

女性教員増加策

公募情報への「九州大学では男女共同参画社会基本法の精神に則り・・・」の文言記載（2004 ～）

大学改革推進経費の部局傾斜配分項目に「女性教員の在籍状況」追加（2008～）

「女性枠設定による教員採用・養成システム」の実施（2009～2018）

次世代啓発

・学部生・大学院生向け講義
・ジェンダー学教育研究の推進
・女子大学院生応援セミナー
・九大女子院生との情報交換会　etc.

他機関・地域との連携

・九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワークへの参加
・「女性の大活躍推進福岡県会議」加盟 etc.

文部科学省補助事業との相乗効果

2007-2009　女性研究者支援モデル育成
「世界へ羽ばたけ！　女性研究者プログラム」
S評価
3つの学内保育施設、 研究助成女性枠etc.

2009-2013　女性研究者養成システム改革加速
「女性枠設定による教員採用・養成システム」
S評価
支援教員制度、 女性比率による傾斜配分etc.

2015-2020 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
配偶者帯同雇用・総合評価の検討中

大学執行部への女性の登用

理事8名中　女性が2名

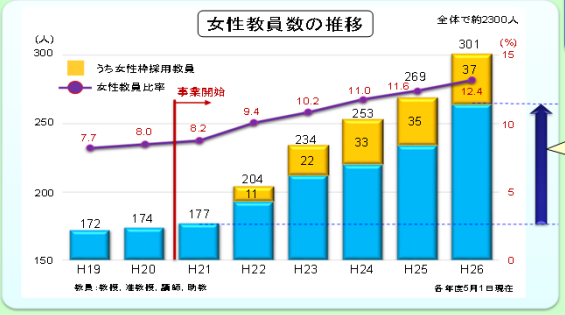
理事・副学長
青木　玲子

理事
山縣 由美子

国立大学では
九州大学のみ

女性教員増加策の実績（採用女性枠）

採用女性枠を契機に
➡ 学内体制整備、部局のシステム改革、離職者減少
➡ 女性枠以外で女性教員の増加



女性教員比率
12.4%(H26.5)
目標10.3%

5年間で
87人増加

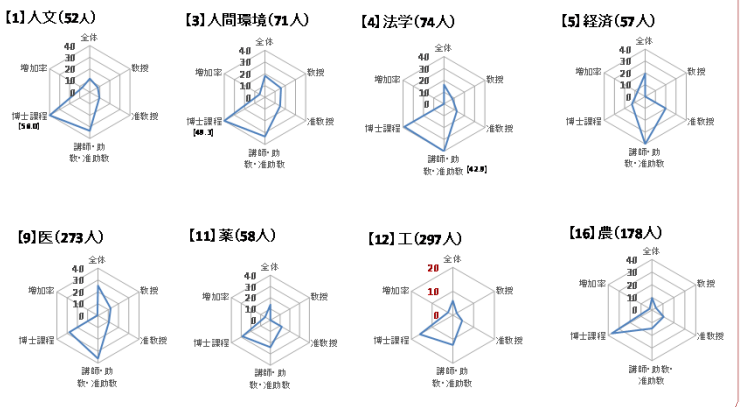
2015-2020年　文部科学省補助事業
女性研究者支援のフロントランナーとして
さらに女性が活躍しやすい大学を目指す

①両立支援環境整備
休日、夜間保育、育児シッター利用料補助
学外での研究活動実施に向けた環境整備
配偶者帯同雇用制度の検討

②男性教職員のWLB推進
男性教職員向けFD
ライフイベント関係休暇制度周知
シングルファーザー支援

③女性研究者の研究力向上、裾野拡大
出産後の復帰者への研究費支援
女性研究者・女子学生向けセミナー実施

④女性の上位職への登用促進
部局長・管理職向けFD実施
「女性活用総合評価」の構築・普及

数値目標	2014年度	⇒	2020年度
女性教員	12.5%	⇒	15.0%
女性教授	5.1%	⇒	7.0%,
女性准教授	11.1%	⇒	13.0%

女性活用総合評価の試行例　2016 .8